

【学科目区分：作曲アレンジ/シンガーソングライター】

番号：学科目名	46	現場で役立つ映像音楽の作り方	4単位	通年
指導講師	ティム・ドナヒュー			
授業のテーマ	テレビ/CM・映画音楽制作を学ぶ、さらにテレビ/CM・映画音楽制作の分野でのキャリアをチャレンジ！			
授業計画及び内容	<p>『バック・トゥ・ザ・フューチャー』『ピンク・パンサー』『タイタニック』『アラビアのロレンス』など、名作の音楽を徹底分析。                  さらに、日本のテレビCMや、受賞歴を誇る映画『マークスの山』におけるティム先生の実践的なサウンドトラック制作も学びます。                  本講座では、メロディやモチーフの作曲から、アレンジ、オーケストレーションまで、映像音楽制作に必要なスキルを総合的に習得。                  実践的な課題とプロジェクトを通して、「映像に音楽をつける力」をしっかりと身につけていきます。</p> <p>■ 実践課題                  ・短いモチーフやメロディの作曲                  ■ プロジェクト制作（全4作品以上）                  ・テレビ/CM音楽：2作品                  ・映画シーン音楽：2作品</p> <p>さらに、ティム先生による日本での映画制作のリアルな現場経験談や、映画音楽ビジネスの仕組みについての特別講義も実施。</p>			
教材・参考書	テキスト・楽譜・映像/音声資料をすべてティム先生が提供			
成績評価の方法	出席状況および課題提出により評価 ※期末試験なし/最終プロジェクトあり			
履修上の指示事項	未経験でもOK！ 楽譜が読めなくても受講可能（読める方はさらに理解が深まります）			

【学科目区分：鍵盤楽器(ピアノ/エレクトーン)】

番号：学科目名	47	ピアノ・音楽基礎知識	4単位	通年
指導講師	富沢 颯斗			
授業のテーマ	楽典、楽曲分析、ソルフェージュを通じて基礎知識の習得を目指します。			
授業計画及び内容	<p><b>【楽典】</b>                  ・音程 ・和音                  ・和音の機能 ・非和声音                  ・形式 ・教会旋法 など</p> <p><b>【楽曲分析】</b>                  ・和音記号を使った分析 ・コード分析                  ・分析をもとに演奏に繋げるための考察 など</p> <p><b>【ソルフェージュ】</b>                  ・聴音 ・リズム                  ・即興演奏 ・作曲 など</p> <p>※どの科目も予備知識無しでも受講可能です。</p>			
教材・参考書	授業内で指示			
成績評価の方法	出席状況等			
履修上の指示事項	筆記用具・五線ノートの持参を推奨します			

【学科目区分：鍵盤楽器(ピアノ/エレクトーン)】

番号：学科目名	48	ピアノ初見アンサンブル	4単位	通年
指導講師	富沢 颯斗			
授業のテーマ	初見力・アンサンブル能力の向上を目指します			
授業計画及び内容	<p>連弾や2台ピアノの曲を初見で演奏します。</p> <p>本授業の流れ                  ①チェルニー30番練習曲 連弾ver. をウォーミングアップとして実践                  ②初見用練習曲を                  ③連弾又は2台ピアノ曲を初見アンサンブル</p> <p>※毎回の授業で完結するため、練習の必要はありません。                  ※初見力、アンサンブル能力は不問です。(両手奏の初見演奏に慣れておくことが望ましい)</p>			
教材・参考書	授業内で指示			
成績評価の方法	出席状況等			
履修上の指示事項				

【学科目区分：鍵盤楽器(ピアノ/エレクトーン)】

番号：学科目名	49	ピアノ実践総合	4単位	通年
指導講師	真島 圭			
授業のテーマ	フィンガートレーニングや伴奏ピアノ、連弾、二台ピアノなど ピアニストとしての個人技とアンサンブル能力の両方を学べます。			
授業計画及び内容	<p>受講されるみなさんの希望を聞きながら指導します。例えば</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伴奏における基本的認識と技術の向上を目指すため 日本歌曲、外国歌曲、合唱曲、ミュージカルナンバー、こどもの歌、音楽療法の現場での歌唱伴奏など、 希望に応じて広範囲で伴奏に必要な奏法のポイントを学ぶ。</li> <li>・初見奏などを通じてピアノの演奏能力を高めていく</li> <li>・連弾や2台ピアノのレパートリーを生徒どうし、また講師とのアンサンブルを通して学んでいく</li> <li>・現在練習中の曲について、困難な箇所改善方法を探していく</li> <li>・鍵盤楽器のための指のトレーニングを通年で取り組む など、柔軟に対応します。</li> </ul>			
教材・参考書	授業内で指示			
成績評価の方法	出席状況等			
履修上の指示事項				

【学科目区分：鍵盤楽器(ピアノ/エレクトーン)】

番号：学科目名	50	ポピュラーピアノ初中級	4単位	通年
指導講師	タニシタクロ			
授業のテーマ	ポピュラー音楽を自分のスタイルで演奏する。			
授業計画及び内容	生徒に配布する楽譜はメロディとコードが掛かれています。まずはその楽譜に慣れる事です。最終的には自分のスタイルで演奏できることが望ましいです。			
教材・参考書	録音機を使いましょう。オリジナルの楽譜を持参してください。			
成績評価の方法	平常点			
履修上の指示事項	特になし。			

【学科目区分：鍵盤楽器(ピアノ/エレクトーン)】

番号：学科目名	51	ピアノ演奏法&指導法講座(隔週)	4単位	通年
指導講師	岳本 恭治			
授業のテーマ	ピアノのテクニックや表現の習得方法とピアノ講師としての指導法も学ぶ。			
授業計画及び内容	<p>I. ピアノを練習する前に            ①楽譜の選び方 ②楽譜の扱い方 ③ピアノ練習の心構え            ④ピアノを練習する前にチェックすること ⑤練習を開始するときの注意</p> <p>II. 練習方法            ①ノン・レガート練習法 ②スタッカート練習法 ③トリル練習法 ④休止的練習法            ⑤最小単位練習法 ⑥テクニックフレーズ練習法 ⑦ポジション練習法 ⑧逆行的練習法            ⑨レガート練習法 ⑩ピラミッド型練習法            ⑪連打練習法 ⑫コンパス練習法 ⑬和音練習法 ⑭分担奏法練習法 ⑮付点練習法等</p> <p>III. その他練習のためのヒントやウォーミングアップ法等</p> <p>IV. ピアノ指導のために習得すること            ①生徒とのコミュニケーション ②各テクニックの指導の仕方 ③各表現法の指導の仕方④ピアノ教室運営法            ⑤指導者としての心構え等「国立音楽院ピアノ講師認定試験」に対応した内容も扱います。</p>			
教材・参考書	ピアノ・練習方法ガイドブック(サーベル社) 1,800円 ピアノ演奏資料集(日本J.N.フンメル協会) 2,000円			
成績評価の方法	出席数と授業態度において評価します。			
履修上の指示事項	ピアノ専攻はもちろんのこと、他の楽器の方も受講できます。国立音楽院ピアノ講師認定試験を受験する人は必須です。また講師にならない人も受講できます。			

【学科目区分：鍵盤楽器(ピアノ/エレクトーン)】

番号：学科目名	52	フィンガートレーニング	4単位	通年
指導講師	竹内 真紀			
授業のテーマ	自分に合った身体の使い方ピアノを弾いて、音楽表現につなげよう！			
授業計画及び内容	音の数も多く、一度にたくさんのことを処理しながら様々なコントロールが必要なピアノ演奏。自分に合った体の使い方はどんなものなのか？また、自分はどんな音が欲しくて、どういう風に弾きたいのか？実際に課題を弾き、まずは肩や腕、ひじ、手首、指の使い方を考えます。そしてコミュニケーションを取りながら自分が表現したい音楽に近づけていく授業です。自分が弾きたい曲、取り組んでいる曲での参加も可能です。			
教材・参考書				
成績評価の方法	出席状況など			
履修上の指示				

【学科目区分：鍵盤楽器(ピアノ/エレクトーン)】

番号：学科目名	53	ピアノの構造と奏法 ～脱力奏法を学ぶために～	4単位	通年
指導講師	岳本 恭治			
授業のテーマ	「どのような仕組みでピアノのアクションが作動し、音を発生させる事ができるのか」を理解し、正しいピアノの脱力奏法を学ぶことをテーマにします。また、偉大な作曲家やピアニストがどのように奏法に取り組み、演奏に応用して行ったかを、易しく、楽しく考察し、ピアノ演奏及びピアノ鑑賞に役立てます。			
授業計画及び内容	<p>○ピアノの構造について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノブ、突上棒、キャストター、響棒、支柱 ・ペダル、ダンパー、ソステヌート、シフト、ソフト、マフラー他</li> <li>・鍵盤、チューニングピン、クロス、駒、響板、鉄骨、弦、ハンマー、ダンパー</li> </ul> <p>○ピアノのアクションについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シングル・エスケープメント</li> <li>ダブル・エスケープメント</li> </ul> <p>○脱力奏法について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアノの構造の知識</li> <li>・手の構造の知識</li> <li>・脱力奏法を身につけるための解説と実践</li> <li>①座る位置 ②身体フォーム ③腕の重さを知る ④手のフォーム ⑤手のトレーニング1</li> <li>⑥手のトレーニング2 ⑦ショパン・フィンガートニック ⑧ブラームスの第一指交差トレーニング</li> <li>⑨指を鍛えるためのトレーニング ⑩まとめ</li> </ul> <p>○テクニック別の練習方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①音階 ②5指練習 ③第3・4・5指の独立練習 ④アルペッジョ ⑤連打 ⑥跳躍 ⑦トリル</li> <li>⑧3度 ⑨6度 ⑩オクターブ ⑪アルベルティ・バス</li> </ul>			
教材・参考書	「ピアノ・脱力奏法ガイドブック vol.1」(サーベル社) 1,600円 「ピアノ演奏資料集」(日本J.N.フンメル協会) 2,000円			
成績評価の方法	出席数と授業態度において評価します。			
履修上の指示事項	ピアノを演奏する人、ピアノ調律科専攻生には、とっておきの役立つ情報満載の授業です。レベルは問いません。			

【学科目区分：鍵盤楽器(ピアノ/エレクトーン)】

番号：学科目名	54	2台ピアノ	4単位	通年
指導講師	志村 直樹			
授業のテーマ	二台ピアノの作品を中心にオリジナル作品、編曲作品、協奏曲等にチャレンジし、アンサンブルで調和する力を身に付けます。			
授業計画及び内容	<p>2台ピアノの重奏演奏研究の授業です。 幅広いジャンルの中から、2台のピアノを使って表現できる音楽を取り上げます。</p> <p>2台ピアノになると各パートの音域が拡がり、響きがより豊かになります。お互いの音を良く聴き合い、それぞれの個性をバランスよく混ぜていくことが大切です。楽譜から読み取れる作曲家の言葉を理解し、効果的な演奏法を身に付けることを目標とします。</p>			
教材・参考書	楽譜は各自購入または、適宜プリント対応をしていきます。			
成績評価の方法	出席状況と取り組み方により総合的に評価します。			
履修上の指示事項	ツェルニー30番程度～上級(各レベルに応じて柔軟に選曲をします)			

【学科目区分：鍵盤楽器(ピアノ/エレクトーン)】

番号：学科目名	54	2台ピアノ	4単位	通年
指導講師	岳本 恭治			
授業のテーマ	ピアノ2台で演奏する作品、4手(連弾)の作品、ピアノ協奏曲を通してアンサンブルのテクニックを習得する。			
授業計画及び内容	<p>主な曲のみ掲載します。</p> <p>○初級：ディアベリ・ブルグミュラー・バッハ・モーツァルトの作品 ベートーヴェン：エリーゼのために等その他</p> <p>○中級：ドビュッシー：月の光 ジュッサーニ：ソナタ シャプリエ：ロマンティックなワルツ ヘンデル：シバの女王の到着 チャイコフスキー：花のワルツ ポロディン：ダッタン人の踊り シューベルト：行進曲 ビゼー：子供の遊び モシュコフスキー：スペイン舞曲等その他</p> <p>○上級：バッハ：ファンタジア ブラームス：ワルツ ショパン：ロンド ヴェーバー：舞踏への勧誘 ラフマニノフ：組曲 ホルスト：惑星 バッハ・ハイドン・モーツァルト・ベートーヴェンのピアノ協奏曲 ショパン・シューマンのピアノ協奏曲等その他</p>			
教材・参考書	各自に適宜楽譜を用意して頂きます。			
成績評価の方法	出席率と授業態度において評価します。			
履修上の指示事項	ピアノ専攻はもちろんのこと、他の楽器の方も受講できます。 超初級・初級・中級・上級と分けて履修して頂きます。			

【学科目区分：鍵盤楽器(ピアノ/エレクトーン)/管弦打楽器】

番号：学科目名	55	室内楽ピアノ	4単位	通年
指導講師	真島 圭 / 澤田 若菜 (月曜日) ・ 志村 直樹 / 澤田 若菜 (木曜日)			
授業のテーマ	ピアノと他楽器の室内楽作品を中心にアンサンブルのレパートリーを広げていきます。			
授業計画及び内容	<p>他楽器との合奏を通じて、「聴く力」・「協調性」・「臨機応変な柔軟さ」などを身に付けていきます。楽器の個性を知ることや、楽譜を読み込み作曲家の意図を汲み取ることによって演奏の幅は大きく変わってきます。</p> <p>一人一人が対等に調和出来ることを目指し、構築的に自由な音楽を作り上げていく演奏表現と一緒に勉強します。</p> <p>弦楽器や管楽器、声楽などとのデュオ作品に限らず、様々な編成の作品も取り扱います。初級でも基礎から積み重ねて様々な曲にチャレンジできるように順序だててレッスンをを行います。</p> <p>(演奏発表予定) ●最終授業の際に授業内コンサートを行います。</p>			
教材・参考書	楽譜は各自購入または、適宜プリント対応をしていきます。			
成績評価の方法	出席状況と取り組み方により総合的に評価します。			
履修上の指示事項	初級～上級(各レベルに応じて柔軟に選曲をします)			

【学科目区分：鍵盤楽器(ピアノ/エレクトーン)】

番号：学科目名	56	ピアノプレイヤー養成講座 (隔週)	4単位	通年
指導講師	池田 公生			
授業のテーマ	ホテル・レストランなどでのブライダル及びラウンジプレイヤーを目指し、ポピュラーピアノを演奏する力を身に付けます。コードの知識を身につけながら、クラシックとは違う自由な演奏を目指す。			
授業計画及び内容	<p>映画音楽やディズニー曲、洋楽・ポップスなどを中心に個々のレベルに合わせて授業を進めます。</p> <p>また基礎的なコード及びコード進行を学びながら色々な曲に取り組みます。</p> <p>「いつか王子様が」「枯葉」他、スタンダード曲等。</p> <p>後期は更にメロディのフェイクのパターンを学習し、各人のオリジナルメロディの作成に取り組みます。</p> <p>理論的な裏付けをしながらより深くすすめていきます。</p> <p>(演奏発表予定) ●学内ライブなど</p>			
教材・参考書	ポピュラーピアノスタディコードの基礎知識等、プリントで配布します。			
成績評価の方法	学習姿勢及び学期毎に行う試験により総合的に評価します。			
履修上の指示事項	ピアノの演奏に関しては、技術的なことよりも自分なりの演奏をしたいという意欲を重視します。			

【学科目区分：鍵盤楽器(ピアノ/エレクトーン)】

番号：学科目名	57	エレクトーン 演奏&グレード	4単位	通年
指導講師	川田 祐子			
授業のテーマ	クラシックからポピュラーまで、エレクトーンに於ける様々な演奏表現法を学ぶと共に、演奏家やヤマハシステム講師、指導者を目指す人に必須の「ヤマハエレクトーン演奏グレード5～3級」を学び、合格を目指します。			
授業計画及び内容	<p>エレクトーンは電子鍵盤楽器ですが、オーケストラからビッグバンドまでたった1人で表現出来る素晴らしい楽器です。演奏技術に依って「素晴らしい演奏」にも「無味乾燥な演奏」にもなるエレクトーンの演奏表現法を深く学び、ソロからアンサンブルまで沢山の演習から、聴く人に感動を与える演奏を目指します。</p> <p>また、演奏家やヤマハシステム講師、指導者を目指す人に必須の「ヤマハエレクトーン演奏グレード5～3級」取得を目指し、即興演奏・初見演奏・楽曲（課題曲・自由曲）の理論を学び、実習を行います。担当講師はヤマハエレクトーン演奏グレード2級、現役のヤマハエレクトーン演奏グレード5～3級試験官ですので確実な学習が可能です。</p> <p>ヤマハシステム講師志望のピアノ履修の学生も「ヤマハエレクトーン演奏グレード5～3級」の取得は必須です。スタートから学べますので、是非履修して下さい。</p> <p>※音楽全般の知識が元となります。是非、各音楽理論系授業も履修して下さい。</p>			
教材・参考書	オリジナル教材、及び各自のエレクトーン曲集を用います。			
成績評価の方法	授業内の習熟度と意欲、出席率を元に評価します。			
履修上の指示事項	ヤマハエレクトーンELS-02Cを使用しますので、ホームページから動作確認済USBフラッシュメモリーを検索し準備して下さい。			

【学科目区分：鍵盤楽器(ピアノ/エレクトーン)】

番号：学科目名	58	国立音楽院ピアノ指導員認定試験対策講座	2単位	集中講座
指導講師	岳本 恭治			
授業のテーマ	国立音楽院ピアノ指導員認定試験に対応する集中講座です。			
授業計画及び内容	<p>国立音楽院ピアノ指導員認定試験は、</p> <p>①演奏分野：ピアノ曲の演奏                  ②指導分野：モデル生徒に実際のレッスンを実施する。                  ③音楽理論及びソルフェージュ分野：楽典・ソルフェージュと和声と音楽史の授業を履修すること。                  ④面接：国立音楽院ピアノ演奏科指導講師と教務部による質疑応答。</p> <p>この授業では、この4部門についての対策やアドバイスを行ないます。                  ①演奏分野、②指導分野、③音楽理論及びソルフェージュ分野、④面接についての対策や練習方法を学ぶ。</p> <p>なお、長期休暇にクラシカル・ピアノ演奏科講師によるセミナーも予定しています。</p>			
教材・参考書	「リフレッシュ・ピアノ・メソッド」岳本恭治（春秋社） 1,800円 その他適宜指示する。			
成績評価の方法	年2回の認定試験結果。			
履修上の指示事項	ピアノ指導員認定試験を目指す方でなくても受講することができます。			